

第2回 幼児教育・保育部会の質問について

番号	質問	回答
1	<p>実際に想定どおり保育利用者数が増えるとして、どのくらいの保育士がいるのか、どれくらいの園が必要なのか？それにかかる予算がいくらかかるのか教えてほしい。</p>	<p>保育利用児童数の増加に伴う、新たに確保が必要な保育士数やそれにとりなう予算額については、新制度下における職員の配置基準が国から示されていないため、職員の配置基準が示された後にお示しします。また施設数については、今後の幼児教育・保育の量の提供体制の確保の際に、審議していきたいと考えております。</p> <p>なお、本市における保育士確保の取組・予算額については、別紙1のとおりです。</p>
2	<p>新聞報道によれば、2012年の私立保育所の平均月給は21万4200円で全産業よりも11万円も少ないそうです。保育士の賃金を上げるため、京都市独自の予算措置や対応はあるのでしょうか？またその必要があると思いますが、検討されているのでしょうか。</p>	<p>京都市におきましては、毎年約41億円を超える独自の予算措置、いわゆるプール制(京都市民間保育園職員給与等運用事業)を実施することによって、民間保育園の職員の配置基準と処遇の改善を図っており、職員の給与は全国でもトップレベルの水準となっております。</p> <p>また、今年度から、国の補正予算で措置されました「保育士等処遇改善臨時特例事業」により、京都市におきましても、総額5億4千万円の予算を確保し、更なる処遇改善を実施しております。</p> <p>なお、本市における保育士の給与改善の状況は、別紙2のとおりです。</p>
3	<p>資料3別紙1⑤の非常勤職員の取り扱いについて、非常勤の割合について一定の歯止めをかけないと、非常勤の割合が増えて、その園の質の低下になるのではと心配です。</p> <p>また非常勤の資格については保育士であることが要件でしょうか。</p>	<p>職員については、原則常勤職員により確保することを前提としております。しかし、開園時間が11時間であり、交代制勤務が想定されることから、非常勤の職員も必要となると考えております。</p> <p>また、本市では常勤保育士だけでなく非常勤保育士も対象とした研修を行っており、市内全体の保育の質の向上を図っております。</p> <p>なお、職員配置基準の算定上には含めない保育補助者を除いては、非常勤保育士についても、保育士資格を求めています。</p>